面试问题：

## 質問：日本人の同僚と一緒に働いた経験はありますか？

はい、あります。  
前職では、日本のお客さんのプロジェクトに参画し、日本人の方とメールやチャットツールでやり取りしたり、プロジェクト会議にも参加していました。  
また、日本語の技術仕様書をもとに、インフラの構築作業も行っていました。

## 質問：日本人の同僚と一緒に働く中で、一番苦労したことは何ですか？

跟日本同事一起工作中最困难的事情？

有时候无法理解深奥的日语技术单词

日本語のIT用語に少し苦労したことがあります。  
たとえば、SQLの「内部結合」（ないぶけつごう）や「外部結合」（がいぶけつごう）という言い方が分からなくて、あとで「INNER JOIN」「OUTER JOIN」のことだと気づきました。

IT用語は、日本語と中国語で言い方が違うことも多いんですが、英語だと共通しているので、  
それからは、日本人の同僚ともコードに使われている英語を使って話すようにしています。

## 質問：日本人とコミュニケーションでうまくいかない時、どう対応しますか？

遇到跟日本人的沟通问题应该如何处理

私の場合、読み書きは問題ないんですが、聞き取りや会話はまだ少し苦手です。  
なので、内容が複雑なときは、チャットツールやメールで確認するようにしています。  
文字「もじ」でやり取りすることで、正確に理解できるようにしています。  
今は、会話力も少しずつ伸ばせるように、毎日練習しています。

## 質問：英語レベルについて

英语水平如何

大学では英語の授業を受けていたので、基本的な読み書きは問題ありません。  
仕事でも、英語のドキュメントを読んだり、メールでやり取りしたことがあります。  
会話はまだあまり得意ではなく、簡単なやり取りしかできませんが、ビジネスレベルまではいきません

## 質問：日本語レベルは？

目前是N2水平，有继续学习日语的计划吗？

中国で2年間独学「どくがく」で日本語を勉強し、 N2試験に合格しました。

今はN1を目指して勉強を続けていて、特に会話力をもっと伸ばしたいと思っています。

## 質問：そのプロジェクトで具体的にどんな作業を担当しましたか？具体的な業務内容を教えてください。

このプロジェクトでは、ログ管理システムの設計から構築・運用までを担当しました。  
具体的には、Fluent Bit を Kubernetes クラスター上にデプロイし、ログの収集・フィルタリング・転送処理を行いました。  
また、OpenSearch を使ってログデータの保存・検索環境を構築し、パラメータの調整によって検索性能の最適化も行いました。

## 質問：これまでのプロジェクトの中で、一番満足しているものは何ですか？その理由は？

过去做过的项目中，最满意的是哪一个？为什么？

一番満足しているのは、OpenSearch を使ったログ管理システムの構築プロジェクトです。  
私が設計から構築、パラメータ調整まで担当し、Kubernetes クラスター上に Fluent Bit を導入して、  
ログの収集から検索までの一連の仕組みを自動化しました。  
このプロジェクトでは、パフォーマンス改善や運用負担の軽減にもつながり、  
お客様も高く評価されました。  
自分の技術が実際の課題解決に役立ったと実感でき、とてもやりがいを感じました。

## 質問：その技術を使った理由を教えてください。

某个技术的使用理由是什么

ログ収集の仕組みとして Fluent Bit を採用しました。  
その理由は、Kubernetes 環境との親和性が高く、軽量で高速に動作するためです。  
また、マルチプラットフォームに対応しており、フィルターや出力先の柔軟な設定も可能だったため、  
複雑なログフローにも対応しやすいと判断しました。  
他にも Logstash などの選択肢もありましたが、Fluent Bit はリソース消費が少なく、コンテナ環境との相性がよかったため、今回の構成に最適だと考えました。

### 1. OpenSearch を使った理由：

OpenSearch を選んだ理由は、ログデータの検索と可視化に優れているからです。  
Elasticsearch 互換でありながら、オープンソースとして自由に使える点も魅力でした。  
また、Kibana 互換のダッシュボード機能（OpenSearch Dashboards）を使って、運用チームがリアルタイムにログを確認できるようにしました。

### 2. Logstash を使った理由：

Logstash を使った理由は、複数のログ形式に対応できる柔軟なパーサーやフィルター機能があるためです。  
特に S3 に保存された ALB ログを取り込む際、正規表現でパースし、JSON に整形して OpenSearch に送るという処理が簡単に構成できました。  
また、プラグインが豊富で、要件に応じて拡張しやすい点も評価しました。

### 3. Kafka を使った理由：

Kafka は、大量のログやイベントデータを安定してリアルタイムに処理する必要があったため導入しました。  
耐障害性が高く、スケーラブルであることから、ログの一時バッファとしても適しており、  
Fluent Bit で収集したログを一旦 Kafka に送信し、そこから Logstash 経由で OpenSearch に連携する構成を取りました。